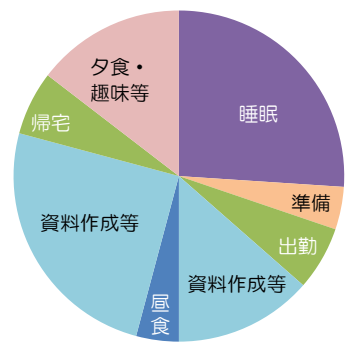


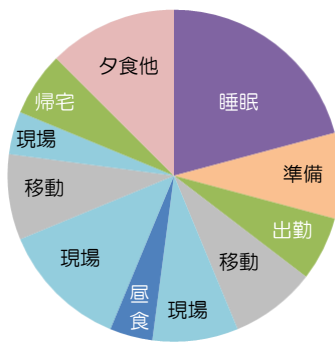
## Q. 1日の標準的な過ごし方を教えてください。

### 国内編 (回答者: 高橋さん)



朝は準備とお弁当を作りから始まります。8時50分頃に出勤し、まずはメールのチェックを行います。社内にいるときは、だいたい、資料作成、電話対応、社内打合せで1日が終わります。もちろん休憩もとりますよ！  
また、客先との打合せや現地調査で、出張も多く、週の半分くらいは外出をしています。

### 海外編 (回答者: 坂田さん)



8時頃にオフィスに出勤。暗くなると治安が悪くなる地域では17時頃にオフィスを出て18時頃にアパートに戻ります。その後、22~23時頃まで、現場レポート作成等にかかることも多いです。  
日本人数名のチームで行っている場合は、週末は皆で食事をしたり、ゴルフに行く人もいます。

## Q. どんな人が廃棄物コンサルタントに向いているのでしょうか？

### 自分の頭で考えられる人！ (回答者: 比良さん)

仕事の範囲は必ずしも自分がよく知っていることとは限りません。手探りのような状況で仕事を進めていかなければならないこともあります。  
先輩や経験者の意見に耳を傾けることは大事ですが、それが絶対に正しいとも限りません。何でもかんでも鵜のみにせず疑問に思うことがあれば確認や質問し、自分の頭で考えて対応できる人は向いていると思います。

### 人付き合いができる人！ (回答者: 森さん)

コンサルタントという仕事は、いろいろな年代や立場の人と接します(上司や同僚、協力会社、発注者、施工業者・・・等々)。  
目上の人への礼儀、尊敬を忘れないこと、仲間意識を持つことも仕事をやるうえでは必要です。  
また、現場を知らずに設計や施工監理はできません！若い頃は、プラントメーカーやゼネコン等の施工業者の人達に聞いて学ぶことも大事です。

## Q. 学生さんへのメッセージをお願いします。

### まずは実際の話聞いてみて！ (回答者: 長谷川さん)

親しい人がこの業界にいない限り、廃棄物コンサルタントの仕事がどのようなものかなかなか分かりづらいのでは？と思うので、インターンやOB訪問等を利用して、まずは具体的な仕事がどのようなものかを実際に目で見て聞いてみてください。  
誰に聞いたらよいか分からない人は、ぜひ私まで(笑)！もしくは、このパンフレットの下にある協会にコンタクトをとっていただいてもよいと思います。

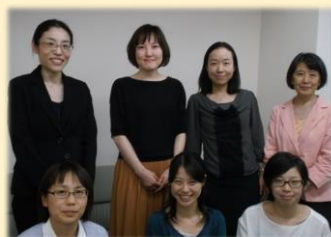
### ポジティブは大きな強みに！ (回答者: 近藤さん)

就職活動では、面接に受からなかったり、失敗もたくさんあると思いますが、落ち込まず、縁がなかったと納得して、ポジティブに次に進むことが大事です。  
入社してからは、専門分野にとらわれない、幅広い知識やスキルが求められます。コンサルタントとして人と人をつなげたり、業務を進めていくことは、学生時代には味わえない新しい楽しさです。物事をポジティブに捉えられることも、立派な能力だと思います。

## 女子学生のみなさんへ

良い意味で、女性扱いはされない業種です。男性も女性も同じように調査を行い、現場にも行きます。最近は、育児休暇を取る男性社員もいて、フォローしたりされたりも普通に行ける職場ですね。

コンサルタントは、社会に提案をして実現していく仕事です。より長く働きやすい職場にしていくために、「仕事を続けていくためにこういう制度を作りたい」という提案を自らできる業種だと思います。



女性技術者懇談会メンバー

## 一般社団法人 日本廃棄物コンサルタント協会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-1-20 エステックビル3階  
TEL: 03-5822-2774 FAX: 03-5822-2775  
E-mail: jwc@haikonkyo.or.jp URL: http://www.haikonkyo.or.jp/

## 学生のみなさんに知ってほしい！

# 廃棄物コンサルタントとして働くこと

## 私たち廃棄物コンサルタントはこんな場面で活躍しています！

ごみ減量化の計画づくりをお手伝いします！

ごみが増え続けて困っています

施設からの環境への影響が心配です

環境への影響をきちんと調査して安全・安心な施設づくりをお手伝いします！

焼却施設

最終処分場

リサイクル施設

施設を建て直したいのですがどうしたらいいでしょう？

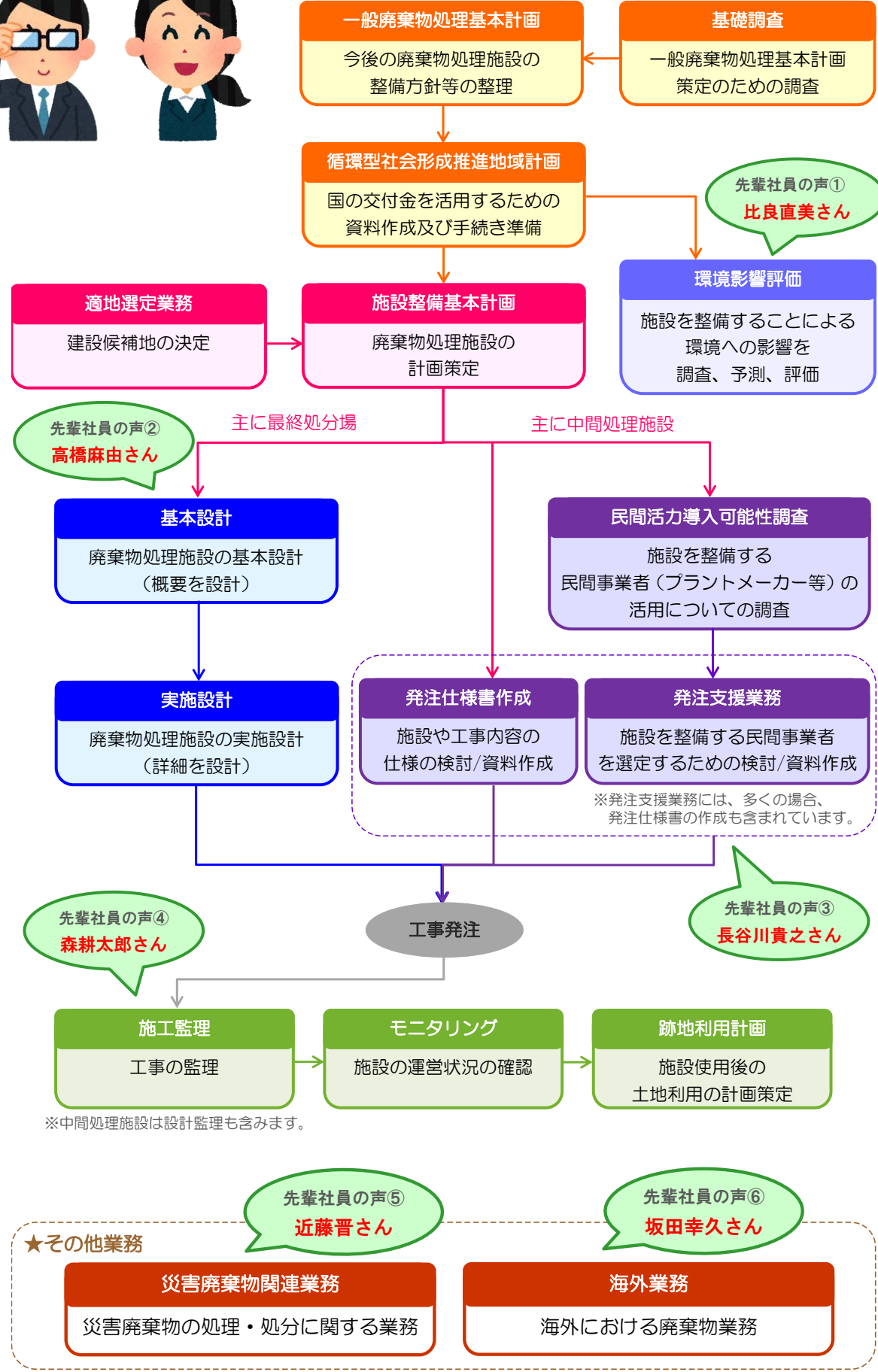
施設計画から建設まで専門家の私たちが支援します！

ワタシたちノクニモゴミタクサンアリマスヨー？

地域に合ったごみ処理やリサイクルを一緒に考えましょう！

廃棄物は、皆さんの生活に最も身近な環境問題です。  
廃棄物コンサルタントは、皆さんの生活環境と深く関わる仕事です！

# 廃棄物処理施設の整備を例に、仕事の流れを見てみましょう！



## 先輩社員①

比良直美さん

- 会社名：株式会社環境管理センター
- 経験年数：24年
- 出身：帯広畜産大学畜産学部畜産環境学科
- 仕事内容：廃棄物処理施設の生活環境影響評価等



**アセスメントで関わった施設が環境負荷の少ない施設に更新されたとき、達成感を感じます！**

**仕事のきっかけ**  
入社後、最初は分析の仕事をしていました。会社がコンサルティング業務を拡大している時期でもあり、もともと興味があったこの分野への異動を希望しました。

**具体的な仕事の中身**  
仕事を始めた当時はバブル期で、焼却施設建て替え時のアセスメントやゴルフ場建設時のアセスメントなどが多かったですが、現在は産業廃棄物処理施設の生活環境影響評価などに携わっています。

**やりがい**  
廃棄物問題は、公害問題、資源・エネルギー問題、リサイクル、住民とのリスクコミュニケーションなど、様々な環境問題の縮図が見られるので興味深く、やりがいを感じます。

## 先輩社員②

高橋麻由さん

- 会社名：八千代エンジニアリング株式会社
- 経験年数：4年
- 出身：九州大学大学院都市環境システム工学専攻
- 仕事内容：最終処分場に係る計画、設計、施工監理等



**現場を確認し、お客さんと相談しながら業務を進めていくのが楽しいです！**

私が廃棄物に関わるようになったのは、学部時代に入った研究室がきっかけでした。最初は、先輩に勧められて入ったのですが、勉強を重ねていくうちに私たちの生活から切っても切れない『ごみ』の問題に興味を持ち始めました。

就職活動は学部時代に1度経験しましたが、どの会社に対しても志望動機がはっきりせず、大学院に進むことを決めました。2度目の就職活動では、廃棄物に限らず、環境という広い枠でコンサルタントを志望し、その結果、今の会社の廃棄物の部署に落ち着くことになりました。

入社して1～3年目は各種計画の策定業務に携わり、廃棄物の基礎を学びました。現在は、最終処分場の計画、設計、施工監理をしており、新たに学ぶことはたくさんありますが、充実した日々を送っています。

## 先輩社員③

長谷川貴之さん

- 会社名：パシフィックコンサルタンツ株式会社
- 経験年数：17年
- 出身：京都大学大学院工学研究科環境地球工学専攻
- 仕事内容：事業者選定アドバイザリー業務等



**社内で最初の、廃棄物分野におけるPFI・PPP事業の業務が印象に残っています！**

**仕事のきっかけ**  
入社時にざっくりと「環境分野」で希望し、1年目から廃棄物関連部署に配属、現在に至ります。大学院の研究内容とは全く関係のない分野での配属ですが、何とかやっています。

**具体的な仕事の中身**  
入社間もない頃から、事業者選定アドバイザリー業務が中心です。具体的には、自治体のごみ処理施設を整備・運営する民間事業者選定のお手伝いであり、どのような発注仕様書、契約書を作るのか、民間事業者の提案書をどう評価するか等について、支援しています。

**やりがい**  
特に、初めての事業を行おうとして困っているお客さんから、業務を終えて「初めてで何も分からず不安だったが、うまくいった！」と感謝された時に、やりがいを感じます。

## 先輩社員④

森耕太郎さん

- 会社名：株式会社イト日本技術開発
- 経験年数：27年
- 出身：福岡大学工学部土木工学科
- 仕事内容：中間処理施設の計画、発注支援、施工監理等



**現場でのものづくりを体感でき施設ができあがっていくことの達成感がある。**

施工監理業務では、プラントメーカーが行う設計内容や施工内容が、発注者（自治体等）の示した発注仕様書等の内容を満足しているかどうかの確認・審査を行います。確認・審査においては、その内容の良し悪しを判断するため、ごみ処理施設に関する知識はもちろんのこと、プラントメーカー各社のノウハウを把握している必要があります。さらに、現場での経験による判断も必要となります。若い頃に、ベテラン社員から機械設備や電気設備について学んだことや、新設の工事だけではなく改造工事に関わったことで、施工監理に必要な知識が増えました。

施工監理業務では、自分が指摘した内容が改善され、施設ができあがっていくことの達成感があります。コンサルタント自体は、ものを作る会社ではありませんが、現場での「ものづくり」を体感できる職業でもあります。

## 先輩社員⑤

近藤 晋さん

- 会社名：応用地質株式会社
- 経験年数：9年
- 出身：東京農工大学生物システム応用科学府生物システム応用科学科
- 仕事内容：被災地の災害廃棄物処理等



**災害廃棄物処理で“復興”というプロジェクトに貢献できることにやりがいを感じます。**

**仕事のきっかけ**  
学生の頃から環境問題に興味があり、現在の会社に就職しました。農学部出身で、廃棄物と関わりがなかったのですが、入社後土壌汚染対策の仕事を経て、今の仕事をしています。

**具体的な仕事の中身**  
災害廃棄物に関わる計画（仮置場でのように処理するか）、調査（廃棄物の種類や量など）、収集運搬等の実施状況の監理を行っています。

**やりがい**  
一つは、復興という大きなプロジェクトに貢献できること。もう一つは、自分の知識や経験を活かして、課題解決のための道筋をつけることです。事業全体がうまく進むと、チームの一員として貢献できたことに、やりがいを感じます。

## 先輩社員⑥

坂田幸久さん

- 会社名：株式会社エックス都市研究所
- 経験年数：17年
- 出身：九州大学大学院工学研究科水工土木学専攻
- 仕事内容：海外（途上国）の廃棄物管理・技術指導等



**仕事面白くなるのは様々な経験が繋がったとき。そこから楽しいことが増えると思う。**

コンサルタントの仕事は提案することです。しかし適切な提案をするためには現況調査が大切なので、業務の前半4割は現地の状況を正しく理解する作業に充てます。現地にはデータが無いことが多いので、そういう場合は現地で計測や見聞きをして、状況を正しく理解することが必要です。続いて重要なのが、正確に相手に伝えることです。難しい調査結果を、相手にわかる言葉で説明することも大切です。

コンサルタントは、「人が悩んでいることの解決策を提案して、そこでお金を貰う」仕事だと思います。調査結果をまとめて考察する辺りから、ようやくプロの仕事になってきます。仕事面白く思うのは、雑用も含めていろんな経験をして、それらが繋がったときでしょうか。そこから楽しいことが増えてくると思います。